

平成26年9月17日
総合政策局国際物流課

ミャンマーにおける貨物鉄道へのモーダルシフト促進のための実証事業について
(平成26年度アジア物流パイロットプロジェクト)

国土交通省物流部門は、我が国の質の高い物流システムをアジアに展開することにより、我が国の進出産業の円滑な事業活動を支援するとともに、アジア物流圏の効率化を進め、アジアの経済成長に貢献することを目指しています。

本年度は、ミャンマーにおいて、初の鉄道コンテナ輸送の導入に向けた実証事業を実施し、その一環として、今般、ミャンマー政府の協力の下、ヤンゴン港－マンダレー間において、ミャンマー国鉄を活用した海上コンテナのトライアル輸送を実施します。



1. 実証事業の背景と概要

ミャンマーにおける主要輸送手段であるトラック輸送については、脆弱な道路インフラ、都市部の渋滞、コスト高、過積載の常態化等様々な課題があり、経済成長を背景に貨物輸送量が增大する中、より効率的な輸送手段としての鉄道貨物輸送への期待が高まっています。

しかしながら、現在のミャンマーの貨物鉄道は、施設の老朽化が進んでいるうえ、有蓋貨車へ手作業で荷役が行われているなどにより、時間のロスや頻繁な荷痛みなどの課題が生じています。

このため、国土交通省物流部門では、ミャンマーで初の鉄道コンテナ輸送の導入に向け、今般、鉄道輸送量が最も多いヤンゴン－マンダレー間のミャンマー国鉄において海上コンテナのトライアル輸送を行い、オペレーション上の課題や効果を検証するとともに、鉄道コンテナ貨物輸送の導入に必要な事業許認可、保税、土地利用等の各種制度・手続きの課題等を調査します。

2. トライアル輸送の実施スケジュール(予定)

- 9月25日 鉄道へのコンテナ積込み、ヤンゴン港出発
- 26日 マンダレー着
- 10月2日 鉄道へのコンテナ積込み、マンダレー発
- 3日 ヤンゴン港着

なお、本実証事業を通じて明らかとなった効果や課題については、本年度ミャンマー政府との間で予定されている物流政策対話において議論を行う予定です。

詳細は、別添資料をご覧ください。

総合政策局国際物流課 野田、武田
電話：03-5253-8111(内線 25425、25427)
03-5253-8800(直通) FAX：03-5253-155